

## 教科目名 電磁気学Ⅲ (Electromagnetism Ⅲ)

学科名・学年 : 制御情報工学科 5年 (教育プログラム 第2学年 ○科目)

単位数など : 選択 1単位 (後期1コマ, 学習保証時間22.5時間)

担当教員 : 岡 茂八郎

授業の概要			
4年生で学んだ「電磁気学Ⅰ」や5年前期の「電磁気学Ⅱ」に引き続く科目としてこの科目を学ぶ。これまでにベクトル解析を利用して学習した真空中や物質中での静電界や静磁界, 電磁誘導, 変位電流の知識をマクスウェルの方程式としてまとめた。これを利用して, 電磁界とエネルギー・力・運動との関係を理解する。理解を深めるために, 適宜, 問題を解き将来の応用の基礎を作る。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(B2), JABEE目標(d1④)(g)	
(1) ベクトル解析を用いて電磁界のエネルギーを理解できる。(定期試験と小テスト)			
(2) エネルギーの最小原理・仮想変位を用いた力の取り扱いを理解できる。(定期試験と小テスト)			
(3) 電束中や磁束中の電荷の運動に関する現象を理解できる。(定期試験と小テスト)			
(4) 電磁界の持つエネルギーや力, 運動の相互関係を理解できる。(定期試験と小テスト)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
			【理解の度合い】
1	0. 5年前期までの復習 0.1 電界・磁界・ベクトル解析 0.2 媒質の定数と回路定数	○5年前期までの復習を行う。	
2	1. 運動と電磁界 1.1 電流と電荷	○電荷の時間変化が電流であることを理解する。	
3	1.2 電束中の運動	○電束中の電荷が移動する現象を理解する。	
4	1.3 磁束中の運動	○磁束中の電荷が移動する現象を理解する。	
5	2. 力と運動 2.1 電流に働く力	○電流に働く力を理解する。	
6	2.2 電磁力と電磁誘導	○電磁力と電磁誘導との関係を理解する。	
7	3. ポインティングベクトルと電磁波	○電磁波によるエネルギーの伝播を理解する。	
8	後期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	○自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解する	【理解の度合い】
10	4. 演習問題1 電荷と電界	○練習問題を解くことによって電磁気学の総まとめを行う。	
11	5. 演習問題2 電位		
12	6. 演習問題3 様々な電界		
13	7. 演習問題4 誘電体		
14	8. 演習問題5 静電エネルギーと力		
15	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		講義の途中でもわからなくなったらすぐに質問すること。	【総合達成度】
教科書	藤田広一, 野口晃著, 電磁気学ノート (改訂版), コロナ社		
参考図書	藤田広一著, 電磁気学演習ノート, コロナ社 山口昌一郎, 「基礎電磁気学改訂版」, 電気学会 (オーム社) 山田直平, 「電気磁気学」, 電気学会 など		
関連科目	電磁気学Ⅰ, 電磁気学Ⅱ, プロジェクト演習Ⅲ		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について, 定期試験と小テストで評価する 総合評価 = (2回の定期試験平均) × 0.8 + (小テスト) × 0.2 総合評価が60点以上を合格とする。		【総合評価】 点